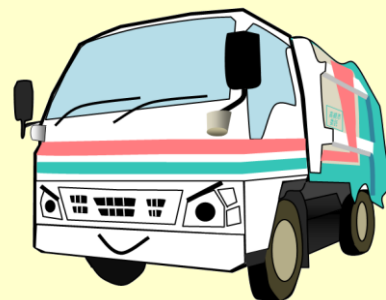
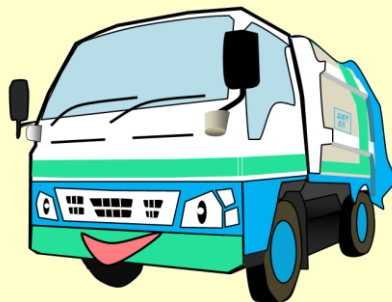


# P A ☆ C A R Z

パッカーズ



アニメ版 (約18分)  
もあるよ↓↓





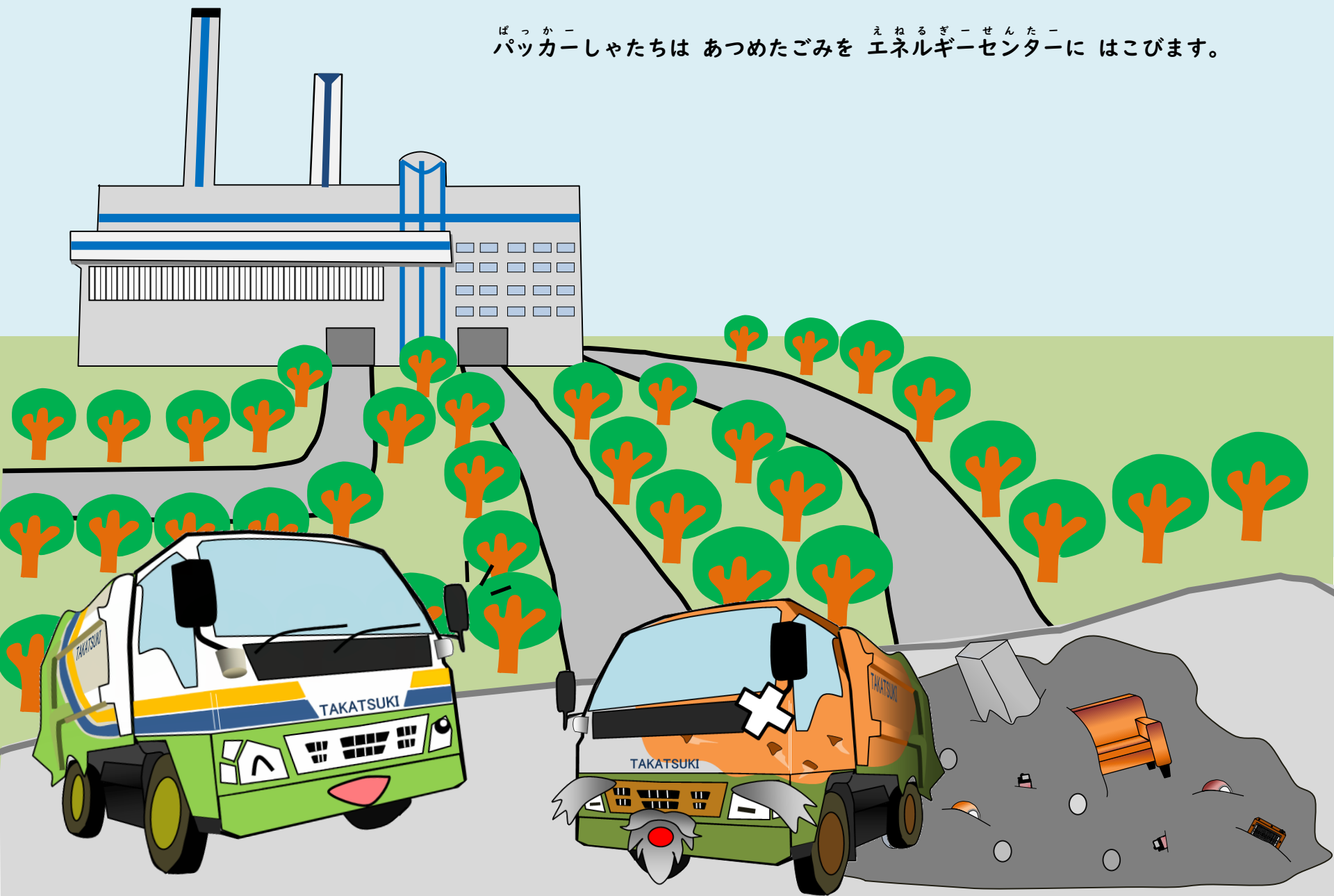
“ちょっくん”は みんなの おうちからでる  
“もえないごみ”をつんでいってくれる はたらきもの！

これは そんな “ちょっくん”が  
ごみをつんで おおやけどを してしまった おはなしです。

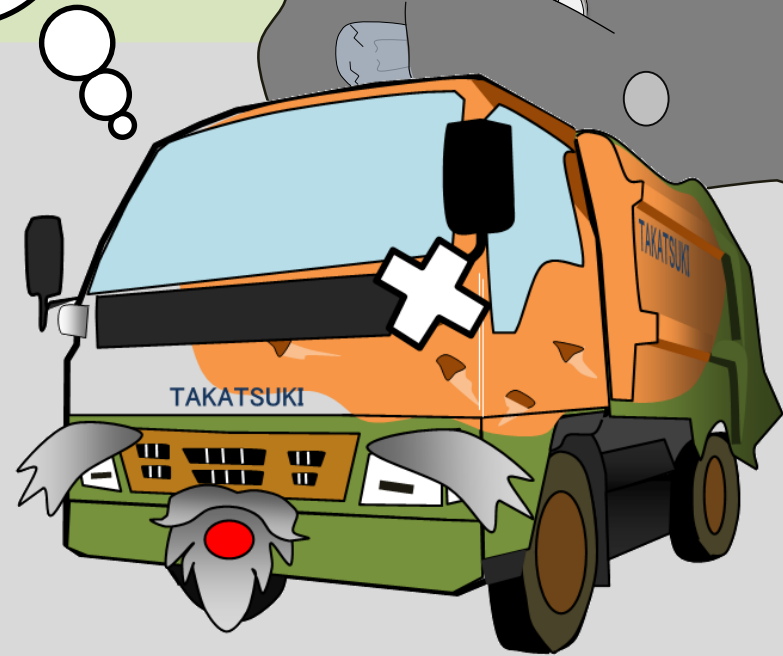


ぼっかー  
パッカーしゃ (ごみしゅうしゅうしゃ) の “ちょっくん” は ごみを どんどん つんでいきます。

ぼっかー  
パッカーしゃたちは あつめたごみを エネルギーセンターにはこびます。

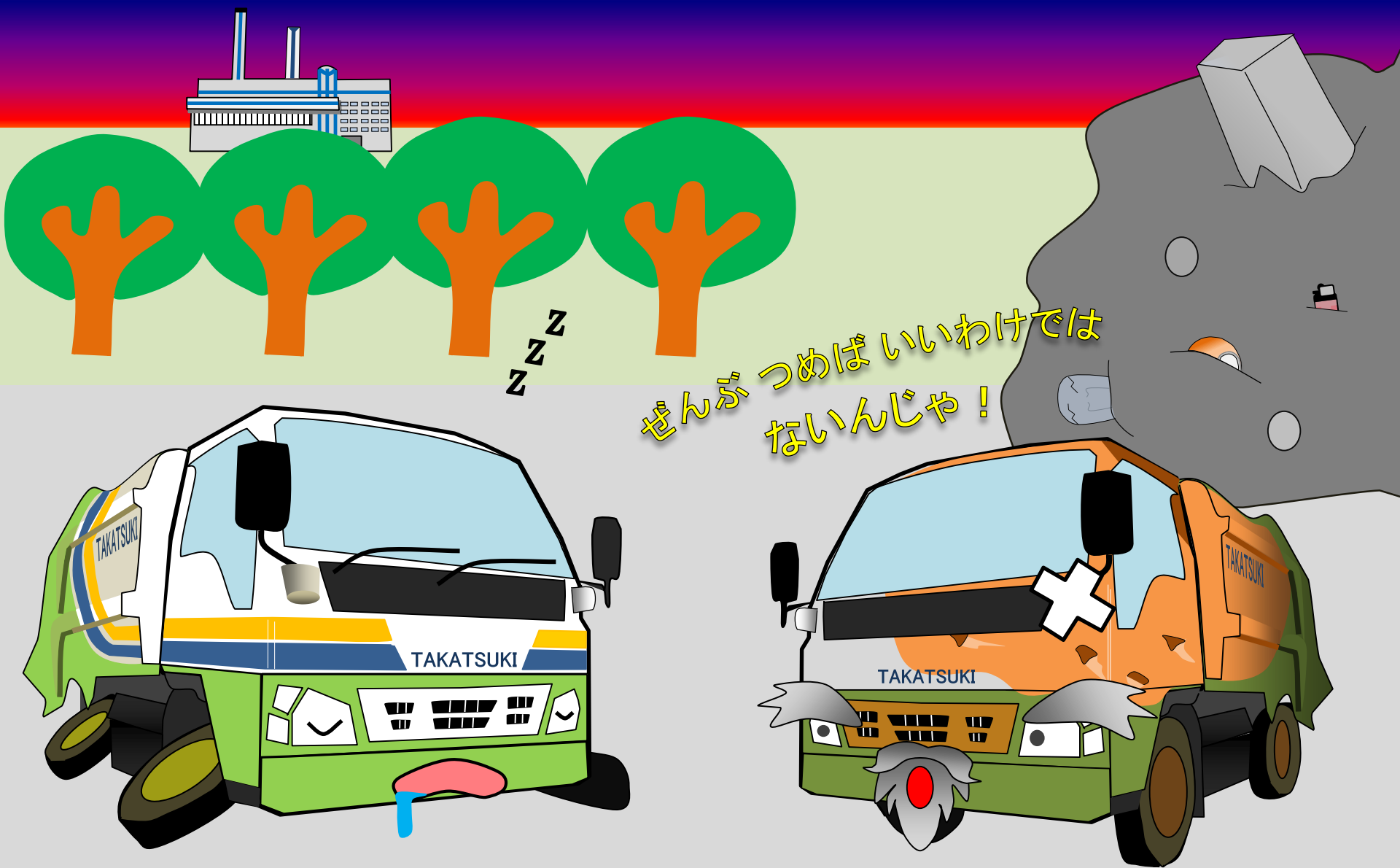


“ちょっくん”がおさんぽしていると ぼろぼろの ぼっかー  
パッカーしゃが・・・。



「わしゃ “ぱかじい”。おかし もえないごみをつんでおったんじゃ。」

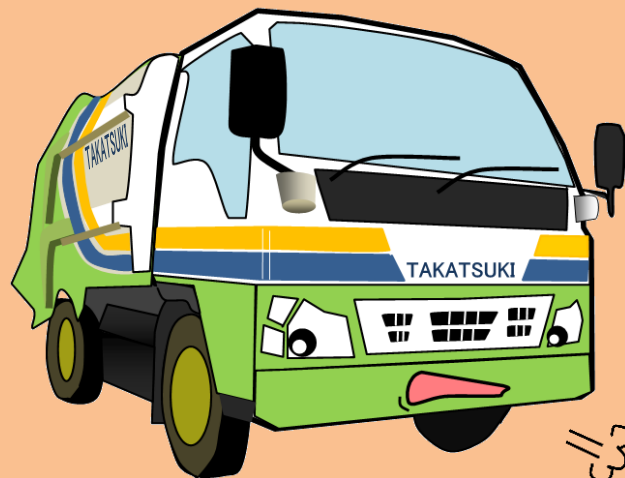
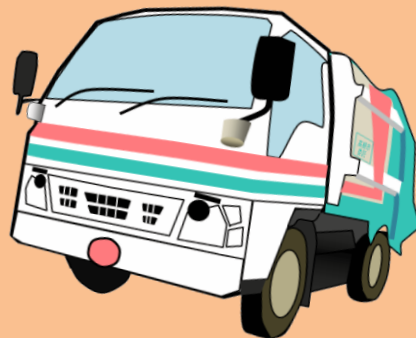
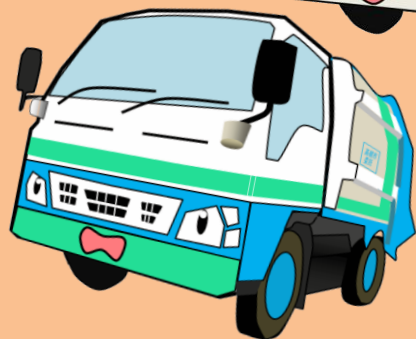
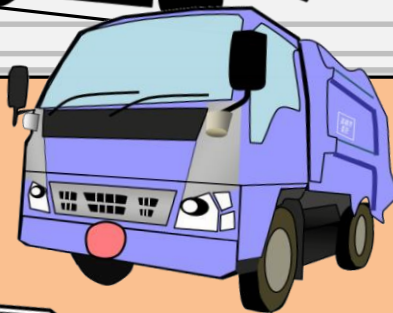
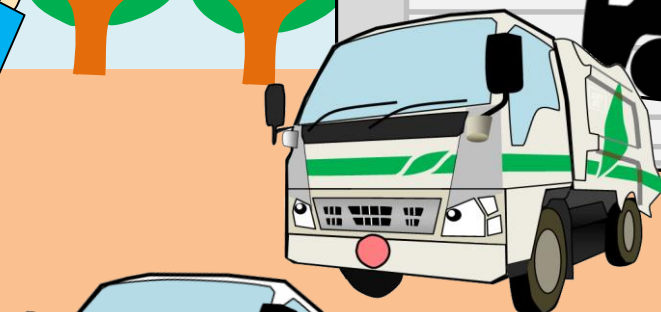
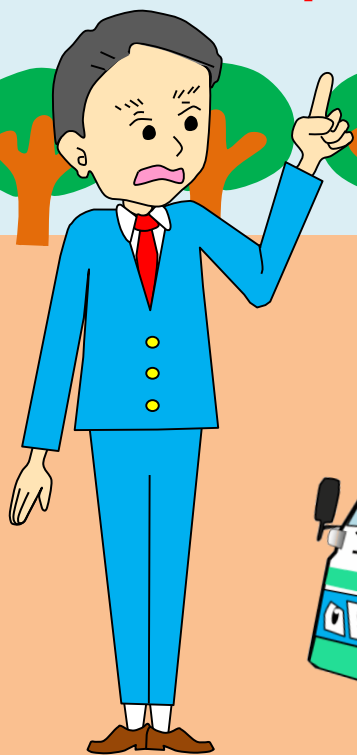
“ぱかじい” は おおむかしに “ちょっくん” と おなじしごとを していたようです。



ぜんぶつめばいいわけではないんじゃ！

「ごみは ぜんぶつめば いいわけではない。

つんでは いけないごみも あるんじゃよ！」と “ぱかじい” は おしえて くれたのですが・・・。



あるひ かいしゃの “しゃちょう” さんから・・・

「だしかたを まちがっているごみには きをつけてね。」

とおはなしが ありました。

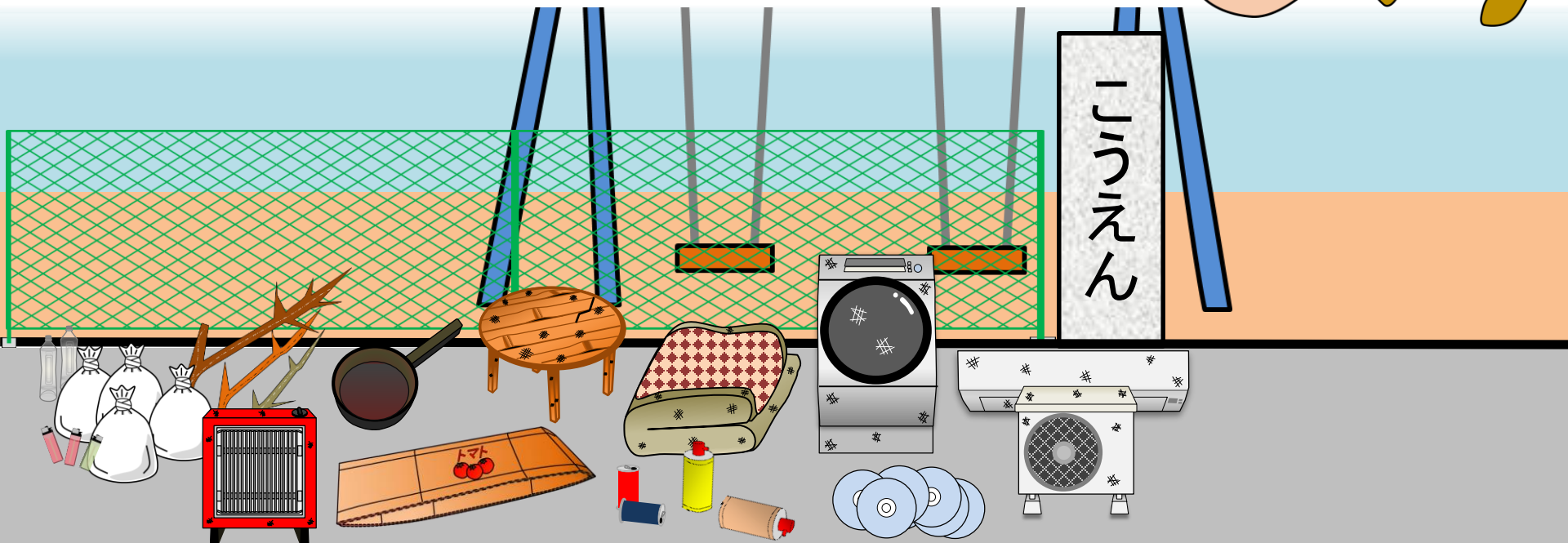
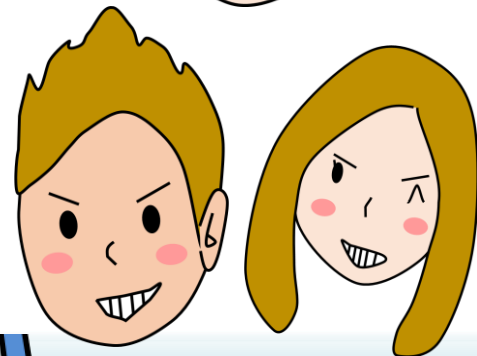
でも “ちょっくん” は ぜんぜん きにしません。

きょうは もえないごみのひ。

「<sup>すぶれー</sup>スプレーかんは そのまま もえないごみかな？」

「<sup>らいたー</sup>ライターは なかみが はいったままでも  
いいのかな？」

「もえるごみが まじっているけど まあいいか。」

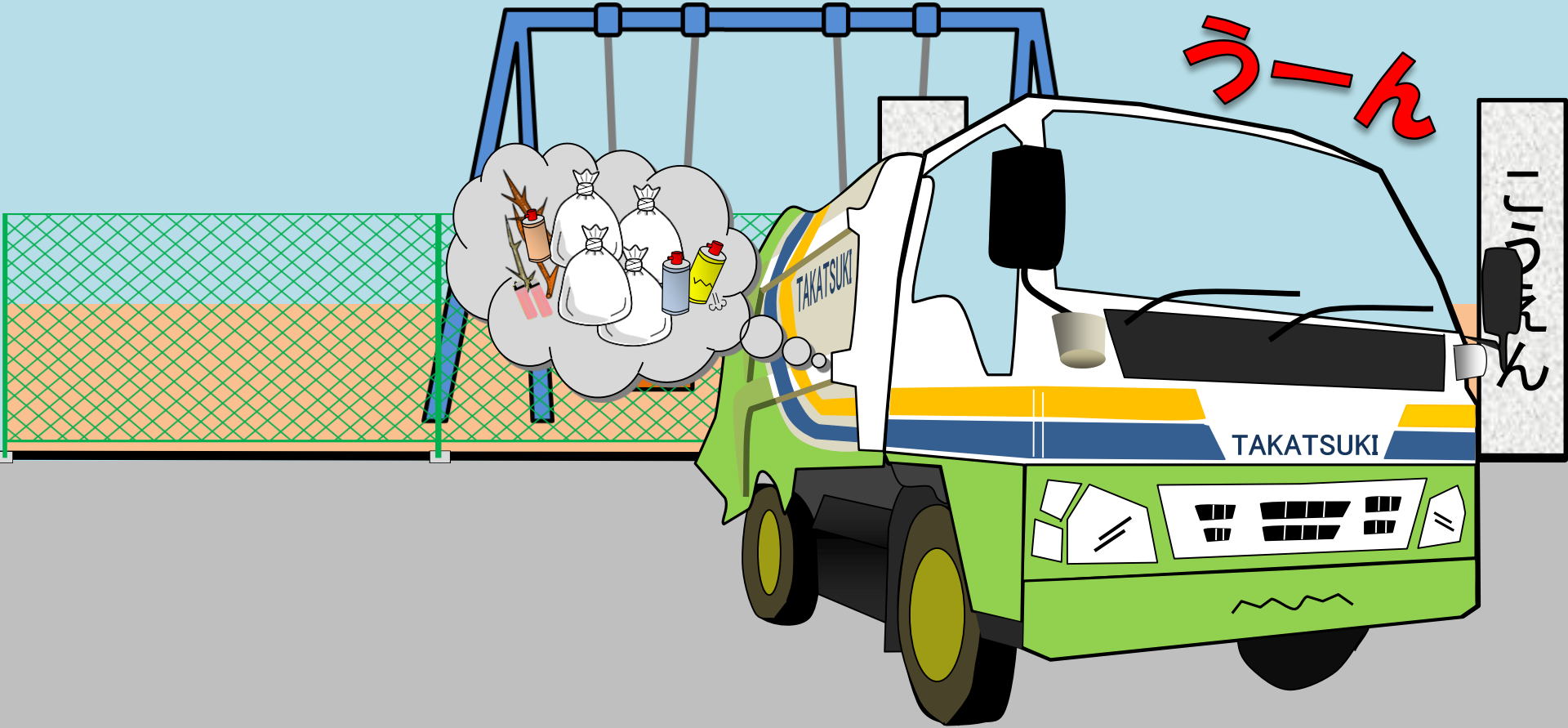


ごみおきばには だしかたを まちがっているごみが いっぱい。





いつものように ごみをつみはじめた “ちょっくん”。  
げんきいっぱいにごみをつみます。

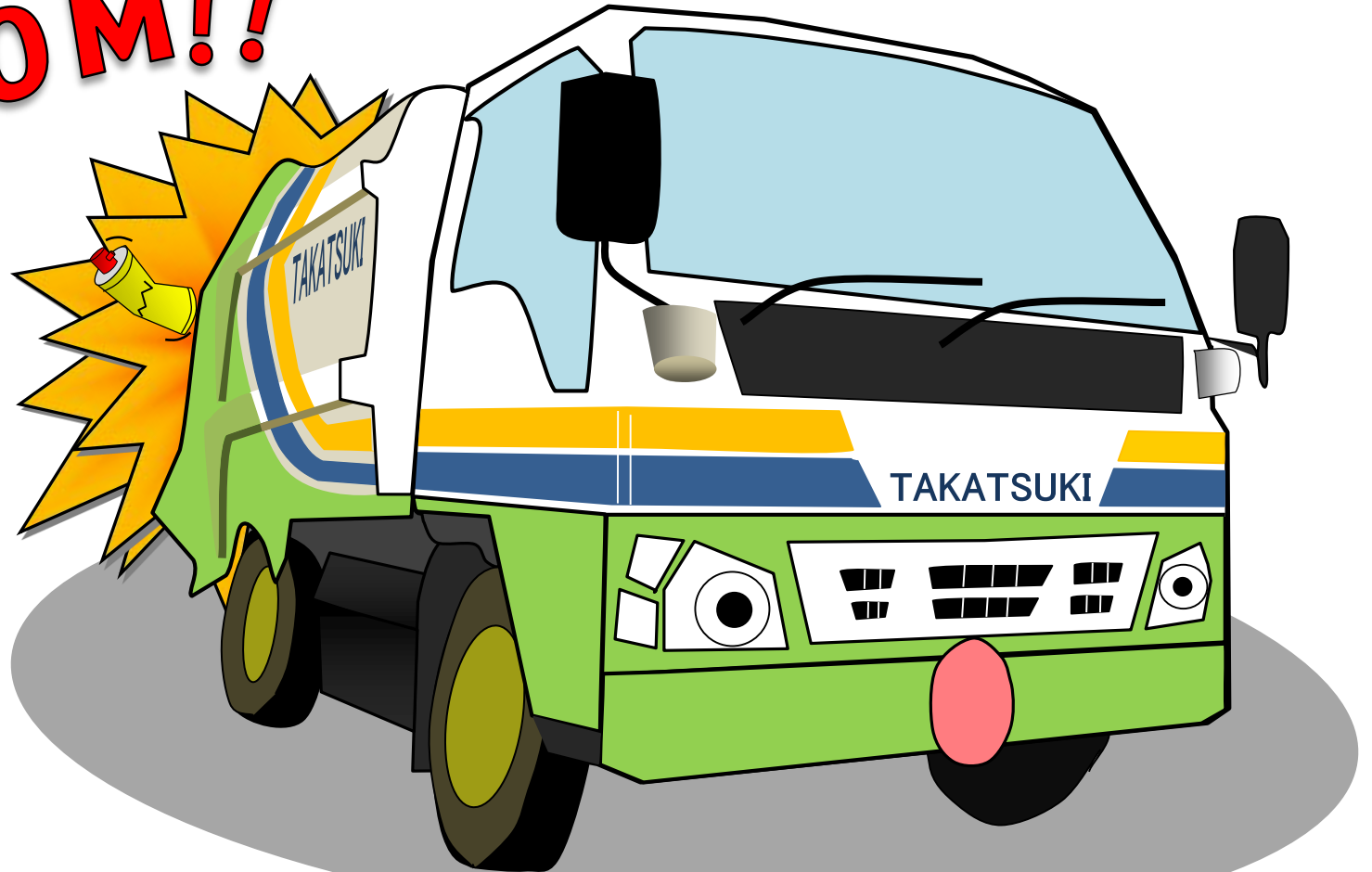


ところが “ちょっくん” の からだから 「<sup>ばちばち</sup>バチバチ」という おとと けむりが もくもく。

そして・・・

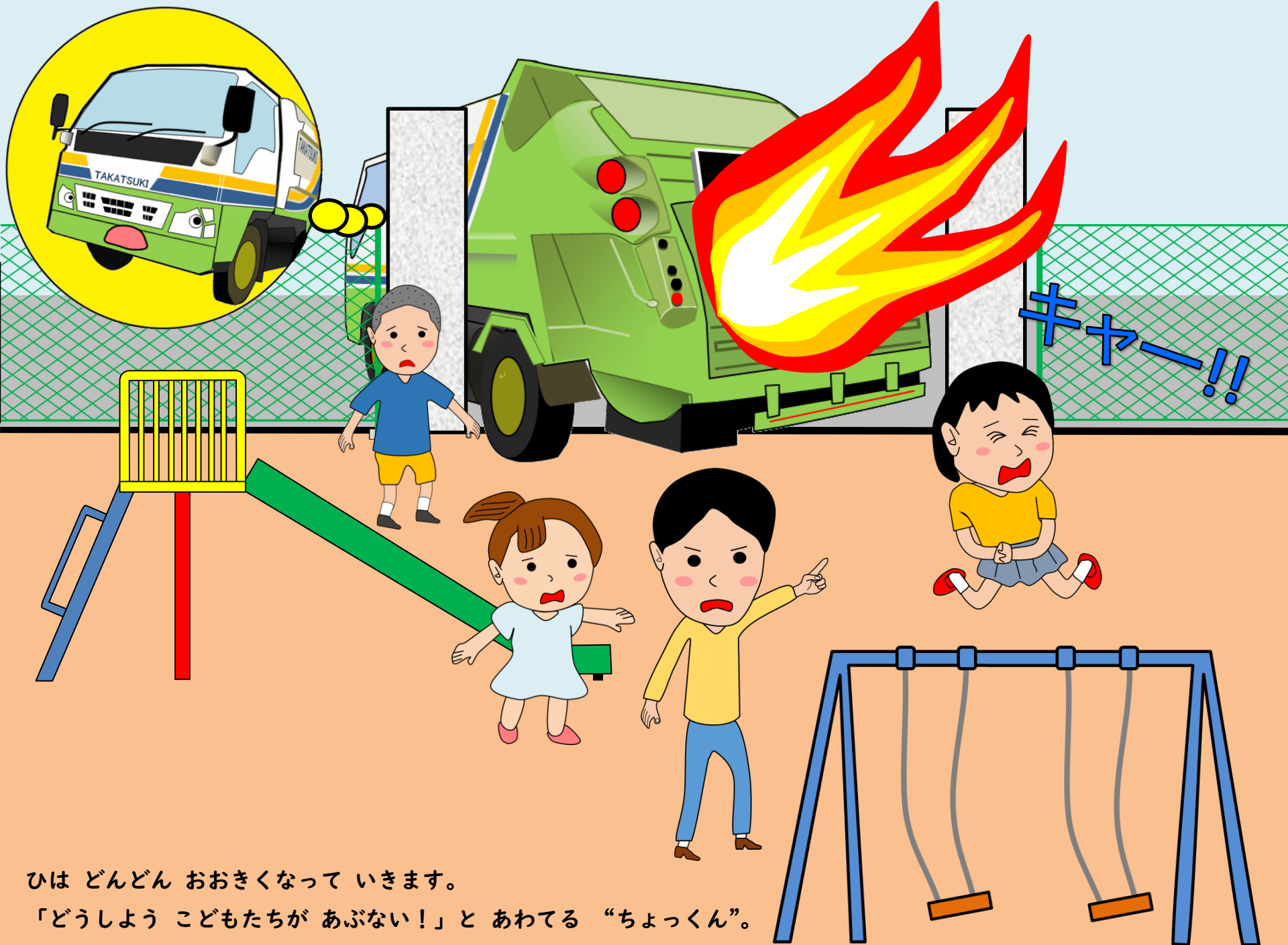
<sup>ぼん</sup>  
ボンっ！！

BOM!!!



おおきな おとがして “ちよっくん” の からだから ひが できました。

「うわあ～ あついよ！だれか たすけて～！」

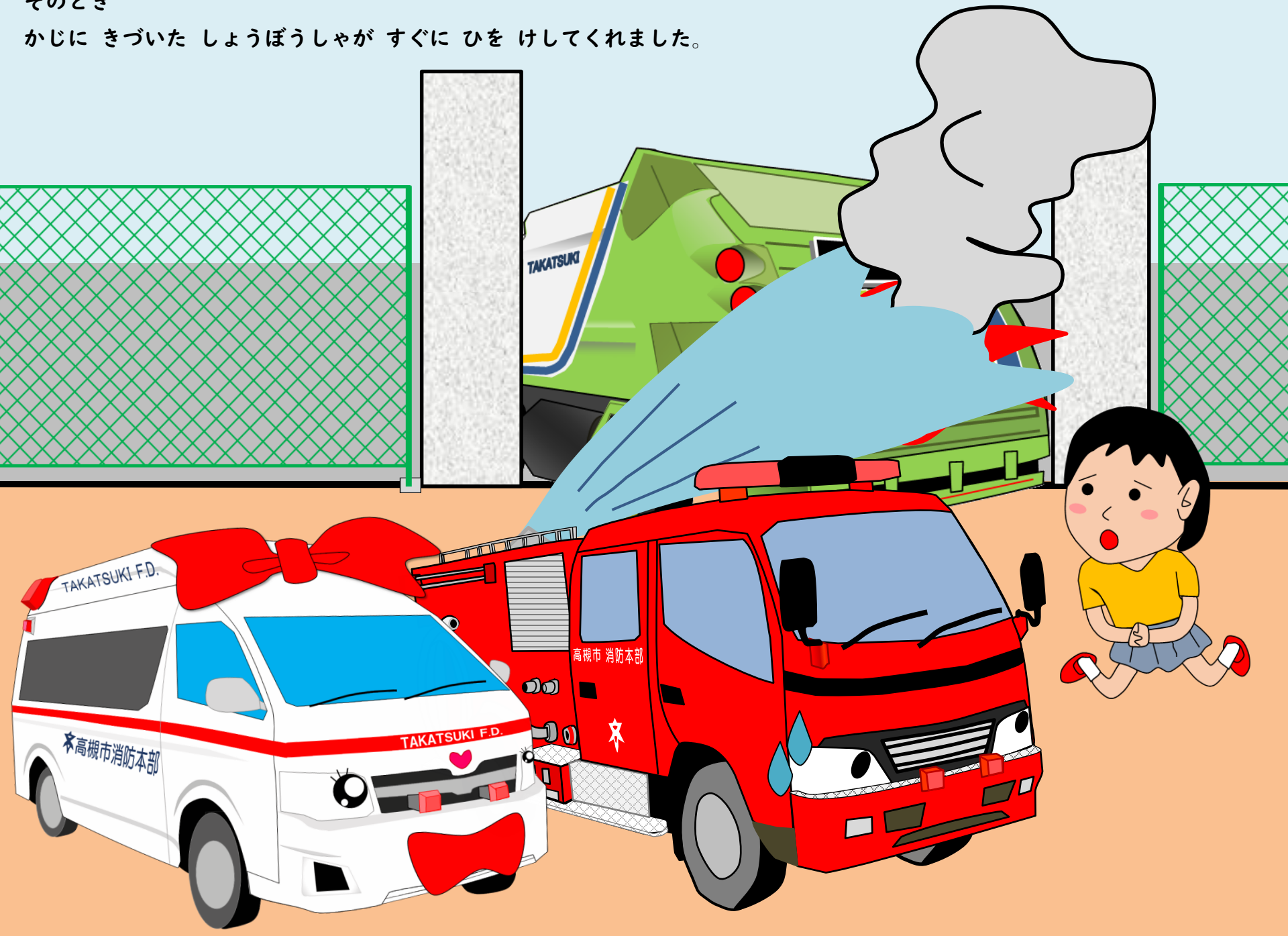


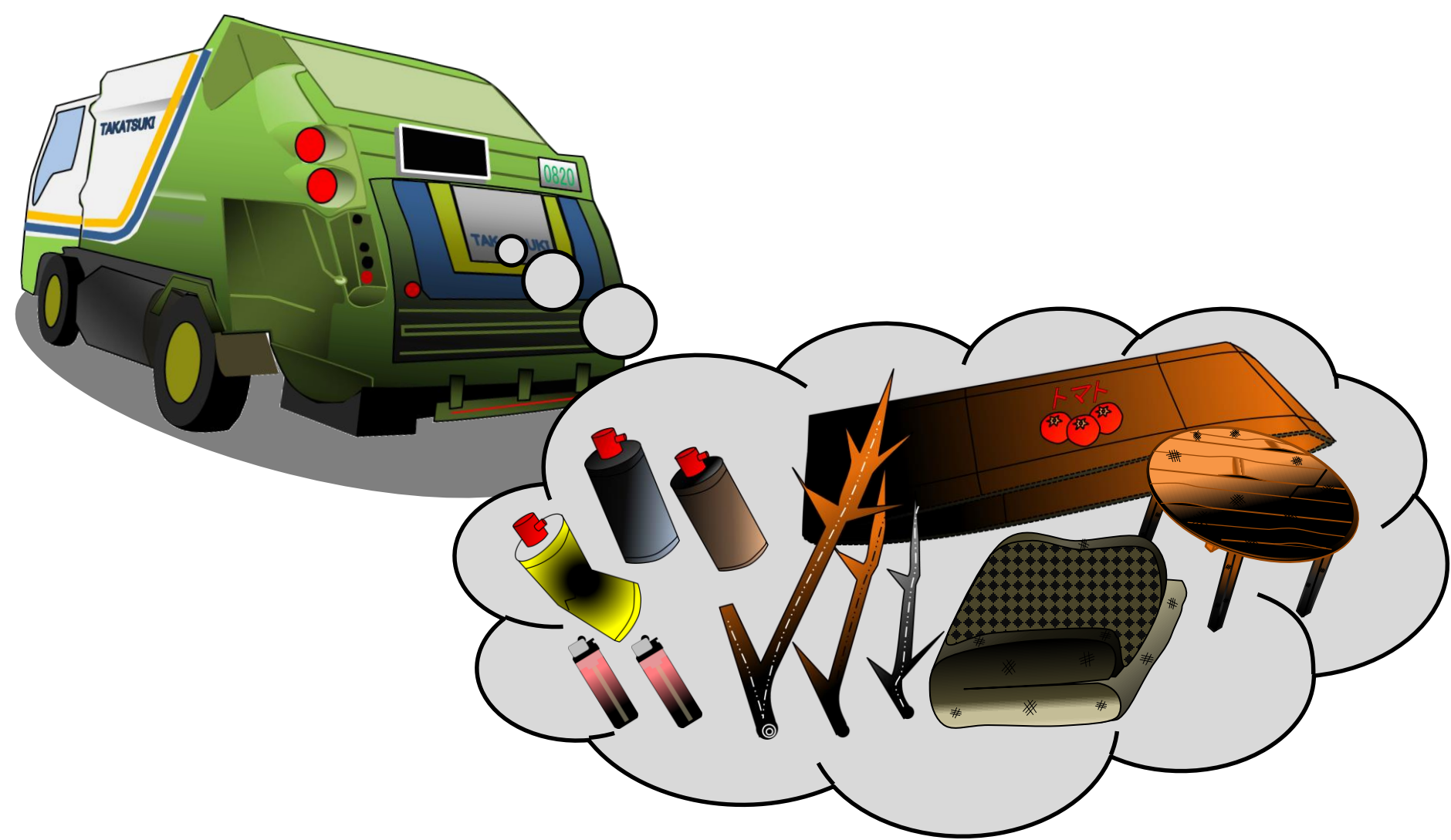
ひは どんどん おおきくなって いきます。

「どうしよう こどもたちが あぶない!」と あわてる “ちよっくん”。

そのとき

かじに きづいた しょうぼうしゃが すぐに ひを けしてくれました。





“ちょっくん”のおなかのなかに・・・

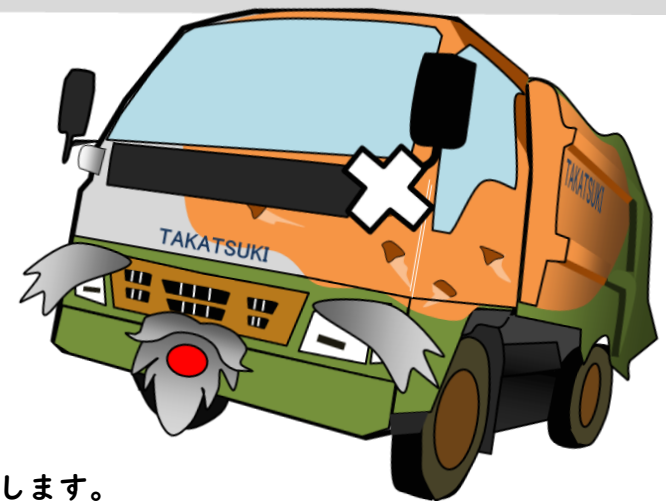
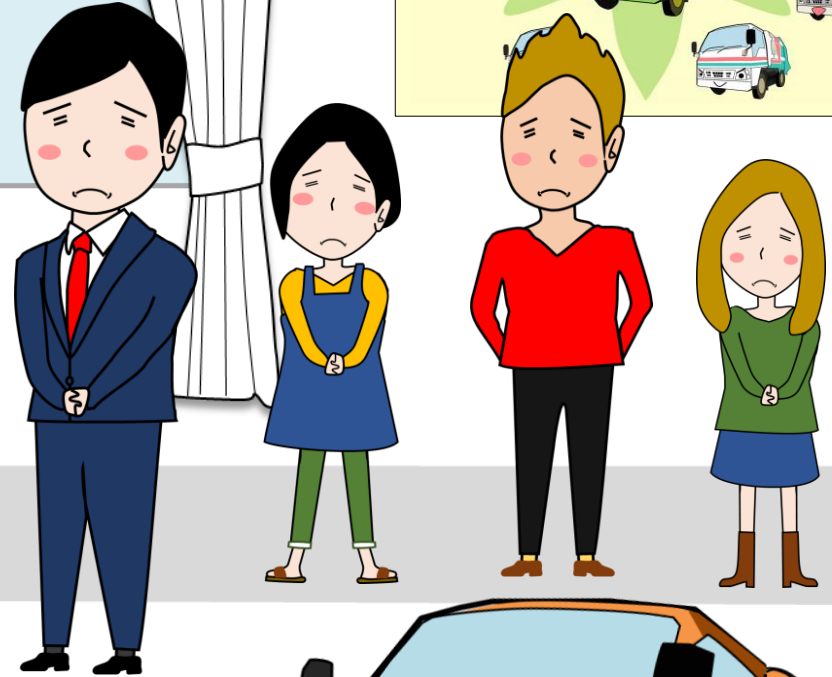
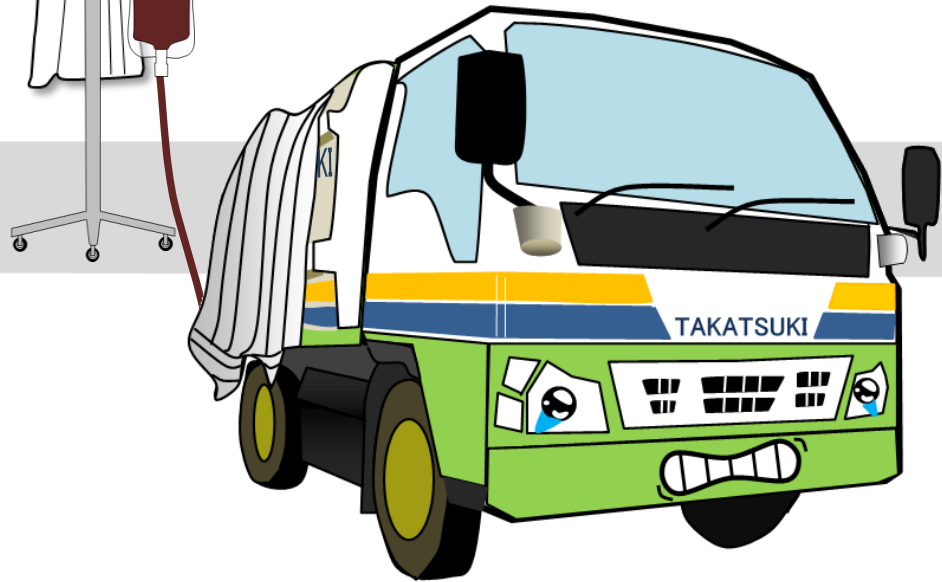
なかみがいままの <sup>すぶれー</sup>スプレーかと <sup>らいたー</sup>ライター としてもえるものがありました。  
つんではいけないものがいっしょにばくはつして “ちょっくん” はもえたのです。  
おおやけどした “ちょっくん” は にゆういんすることになりました。

みんなが“ちよっくん”のおみまいにきました。



しんぱいしている みんなに “ちよっくん” が  
「はやく げんきになって また ごみをつみたいよ。」と います。  
でも “しゃちょう” は  
「“ちよっくん” には もう ごみをつむしごとを やめて もらおうかな。」  
そういって かえって きました。

「ぼくは ごみを ぜんぶつんだだけなのに・・・。」  
と “ちょっくん” は くやしがりました。

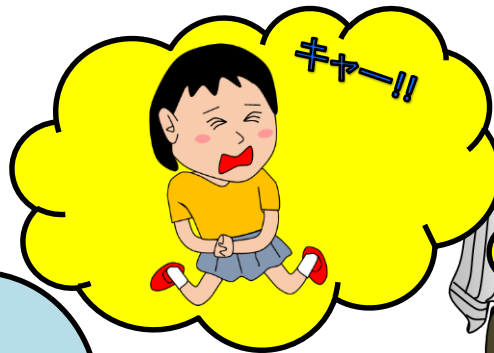


すると “ばかじい” が

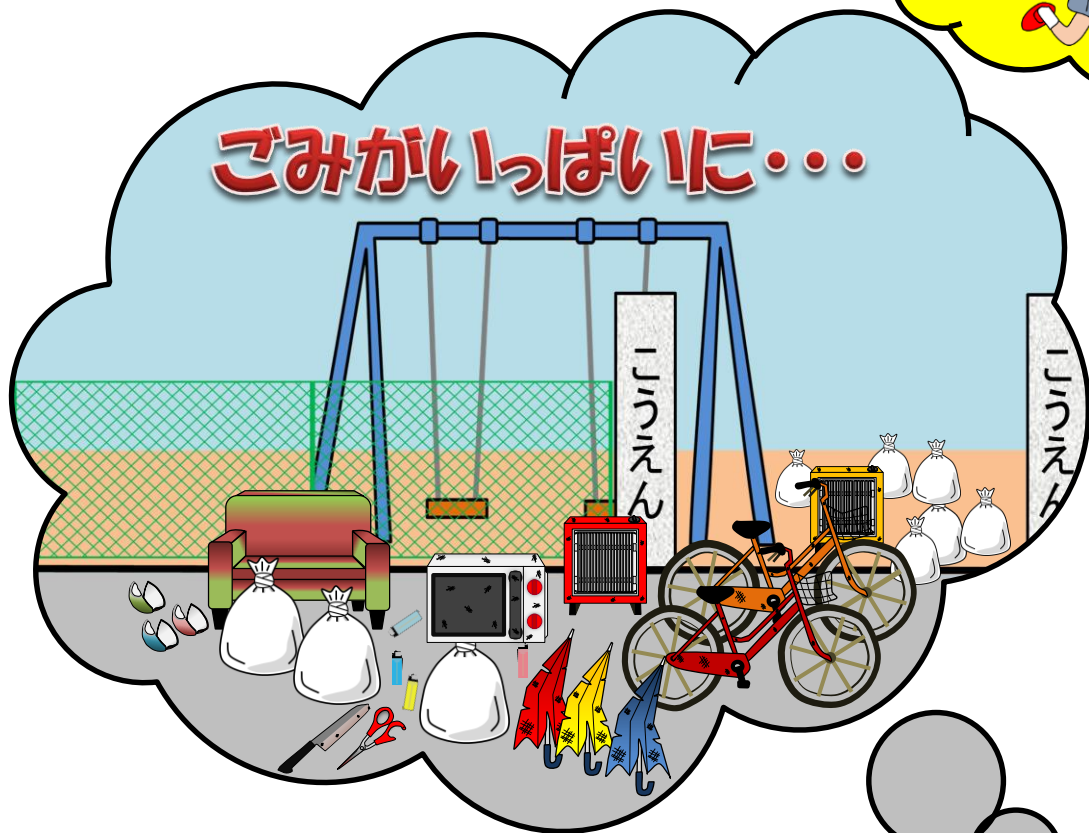
「ごみの <sup>ル</sup><sub>ール</sub>を まもらなかった みんなも わるい。

じゃが でているごみを そのままつんだ “ちょっくん” も わるい。」と ちゅういします。

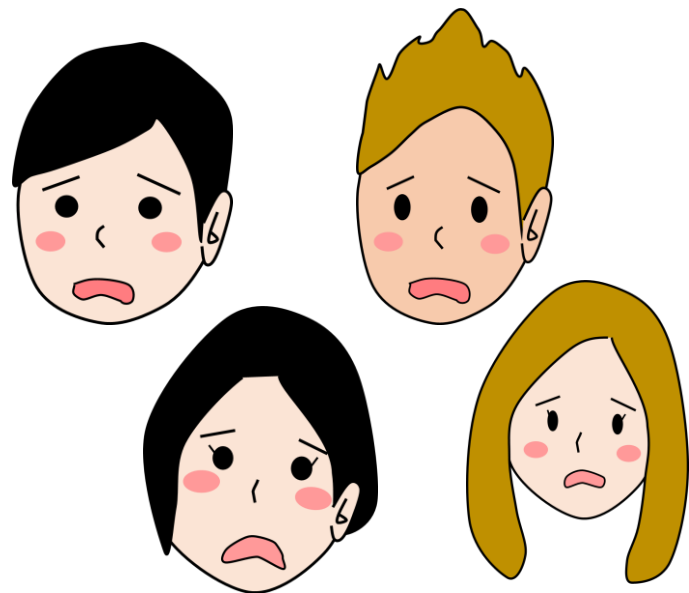
“ちょっくん”はしょんぼり。  
そしてかじをおもいでして  
「もうごみをつむのがこわいよ。」とぽつり。



## ごみがいっぱいに...



それをきいたまちのみんなは  
「“ちょっくん”がごみをつめなくなったら  
どうしよう。」とこまりました。



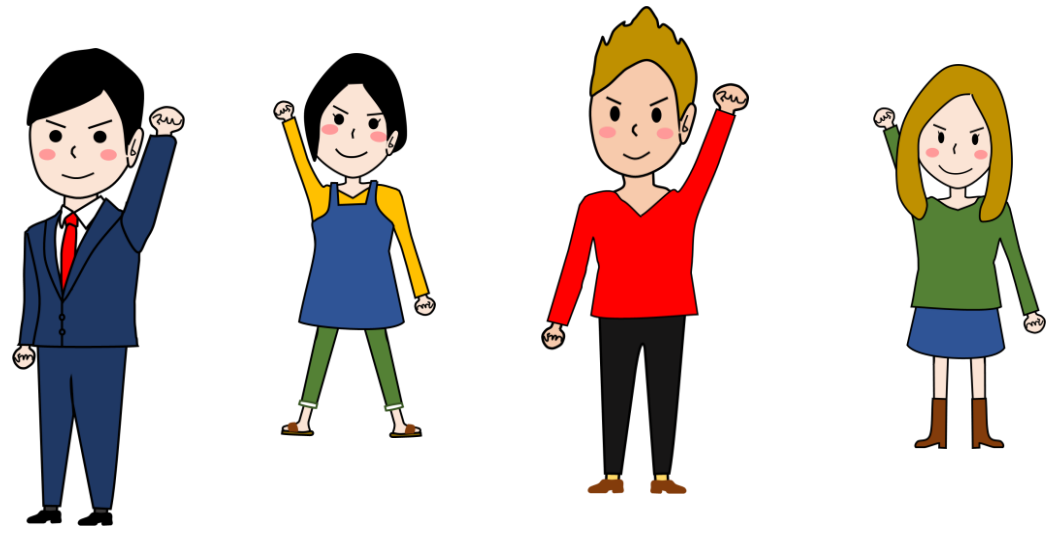


すると “ばかじい” が ひらめきます。

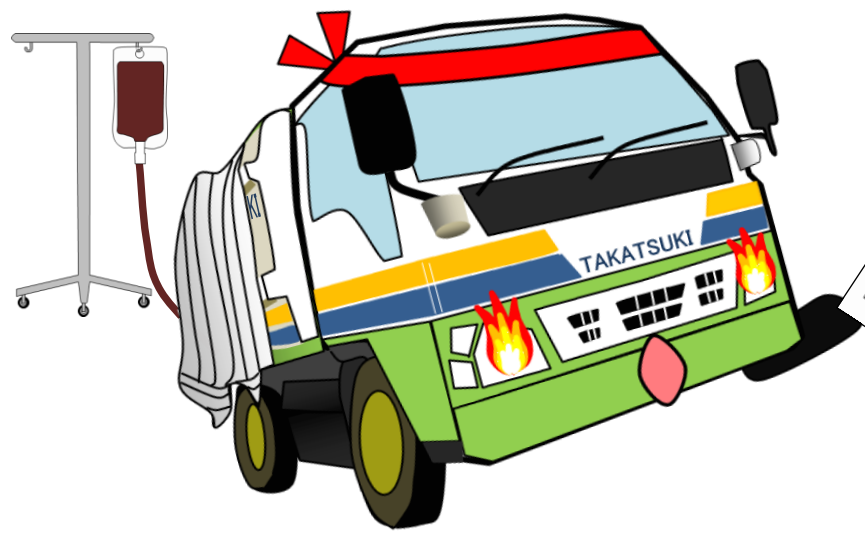
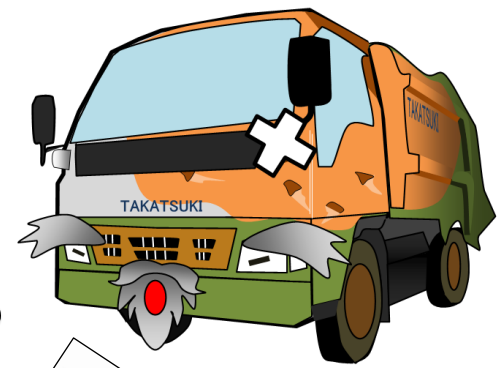
「まちのみんなには ごみの ルール を ちゃんと まもってもらう。

“ちょっくん” は つんでは いけないごみをつまないようにする。そしたら もう かじは おきないはずじゃ！」

こうして “ちょっくん” と まちのみんなの とっくんが はじまりました。

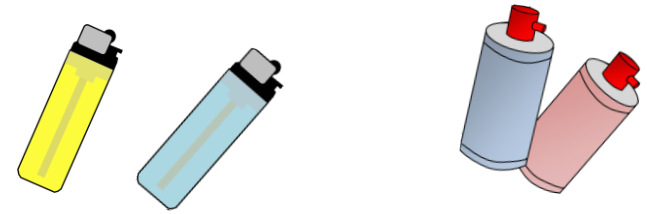


とっくんごっこっ！



みんなは いっしょうけんめい ごみを だすときと つむときの  
ルールを おぼえました。

そして おぼえたことを “しゃちょう” に <sup>てすと</sup>テストして もらいます。



すぶれー  
スプレーかんの だしかたと つみかたは？

なかみを つかいきって リサイクルごみ！

もえないごみでは つまない！

らいたー  
ライターの だしかたと つみかたは？

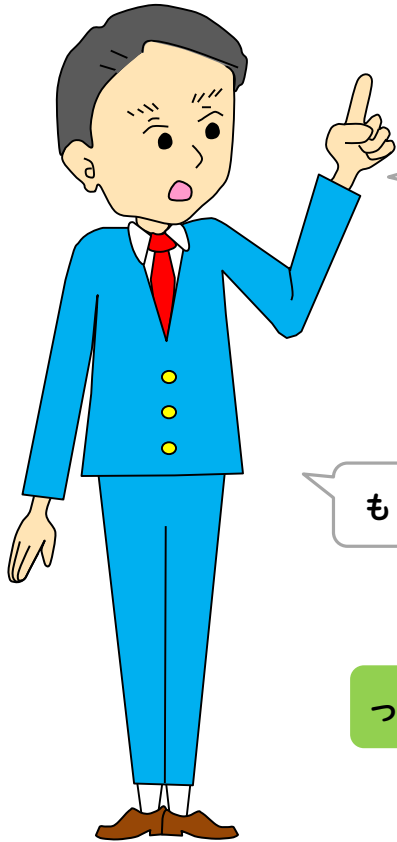
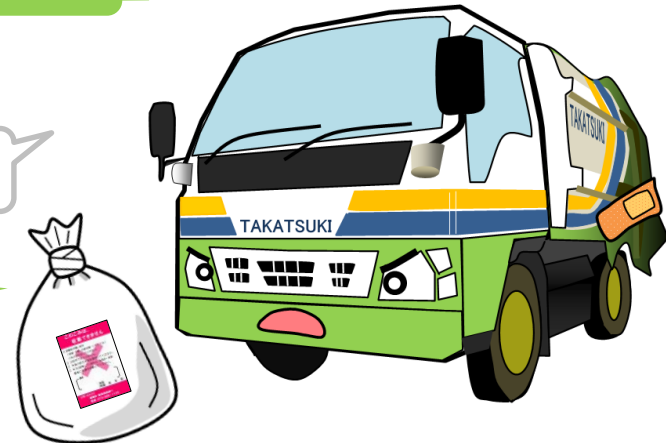
なかみが はいったまま ださない！

なかみが はいったまなら つまない！

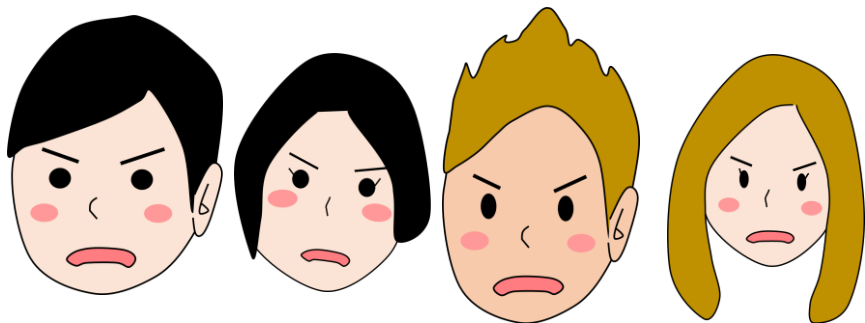
もえないごみのひに もえるごみは？

ぜったいに ださない！

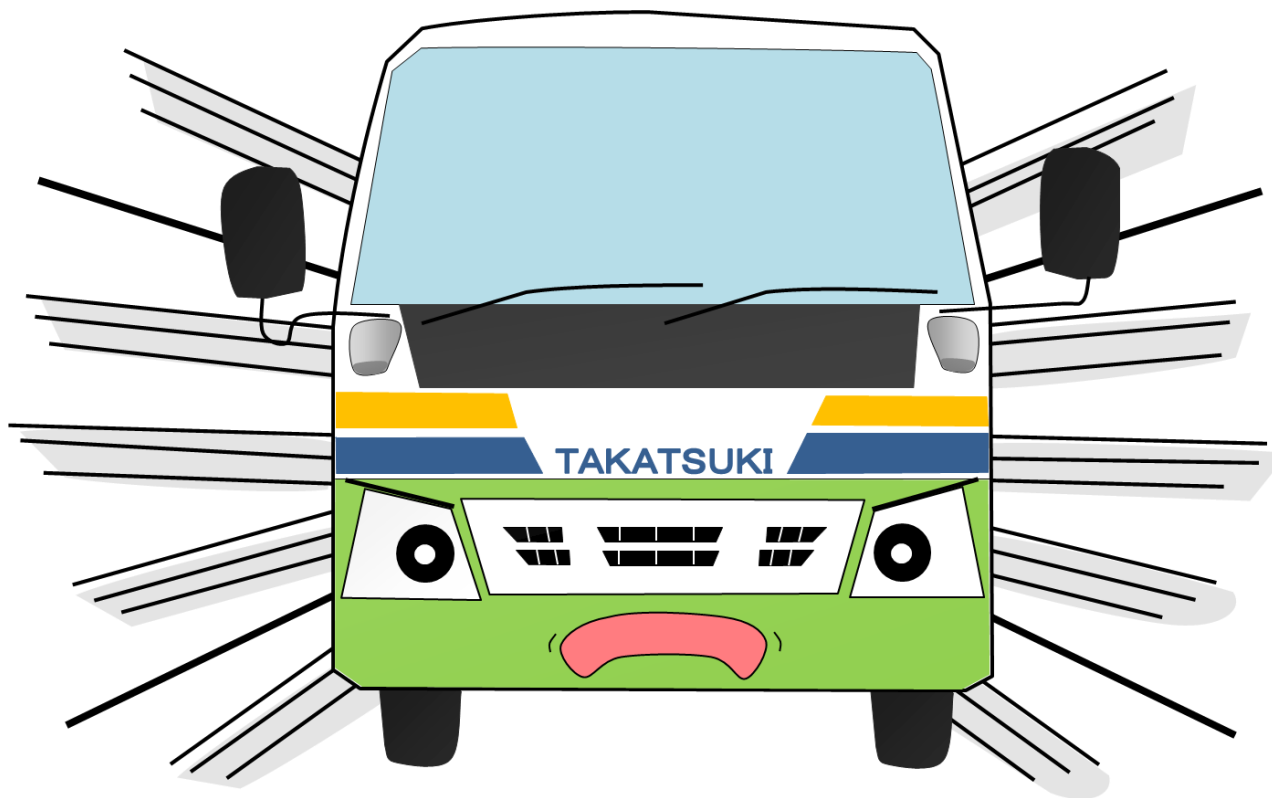
つまない！「だめですシール」をはってのこしていく！



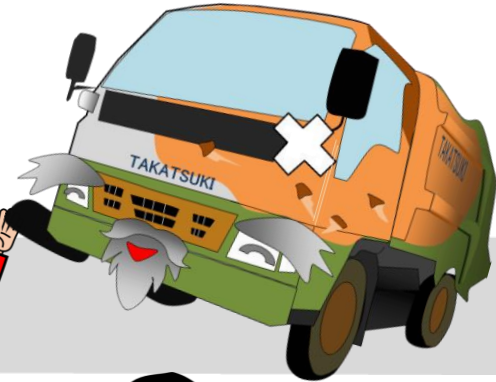
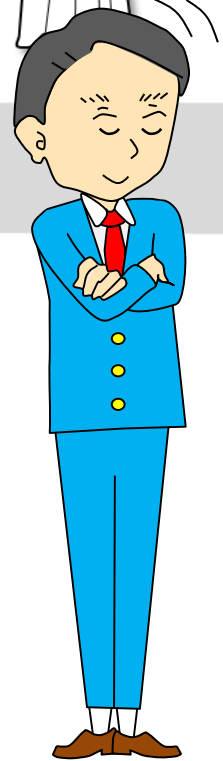
「ごみを だすときと つぶときに いちばん たいせつなことは なんですか？」



「わたしたちが ちゃんと <sup>る</sup> <sup>る</sup> ルールを  
まもって ごみを だして・・・」



「ぼくが それを ちゃんと みて あんぜんにつぶことです！」



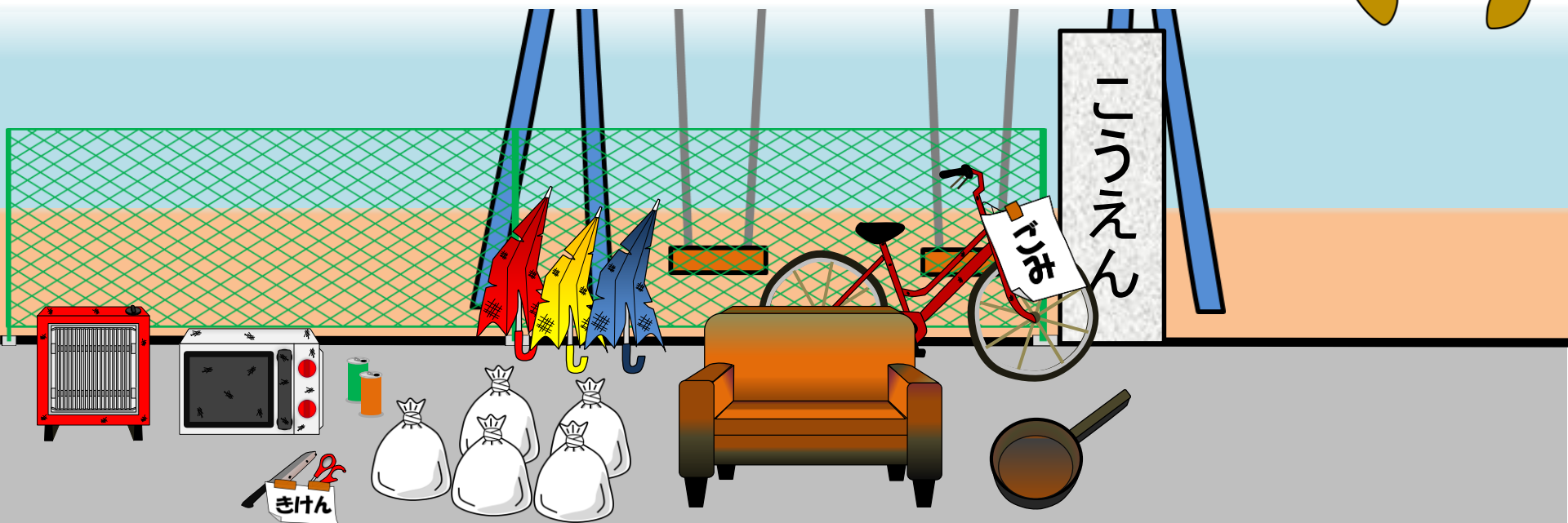
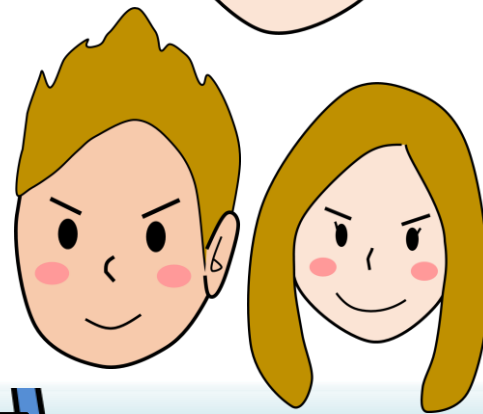
「ごうかくです。“ちょっくん”にまた ごみをつむしごとを してもらおう。」  
「やったー！また ごみをつめるぞ〜！」  
まちのみんなと “ちょっくん” は おおよろこび。

しばらくたった あるひ。

「<sup>すぶれー</sup>スプレーかんは なかみを つかいきって <sup>りさいくろ</sup>リサイクルごみだね。」

「<sup>らいたー</sup>ライターは なかみが はいったままなら だせないな。」

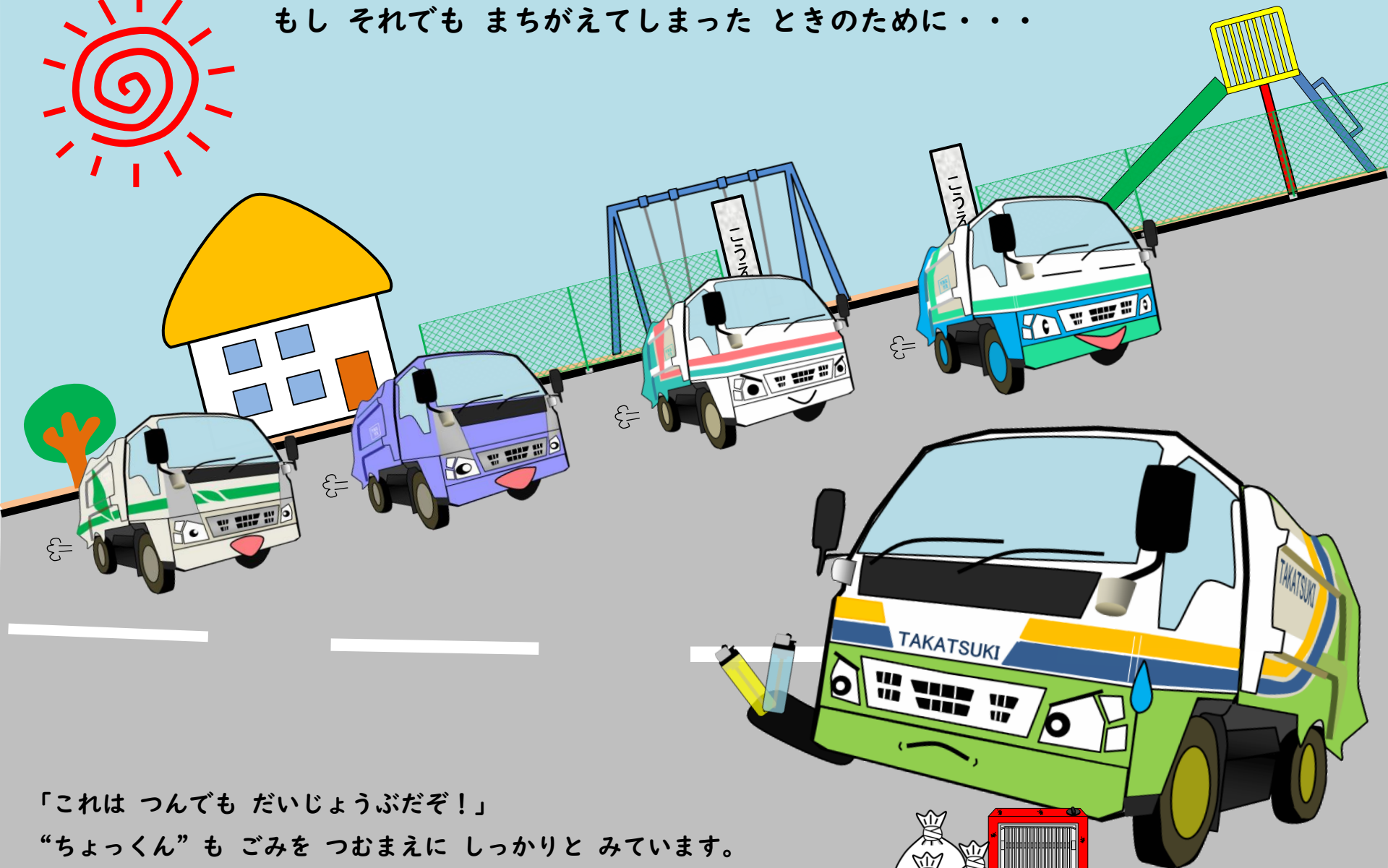
「もえるごみが まじらないように きを つけよう。」



まちのみんなも ごみを まちがえて ださないように がんばっています。



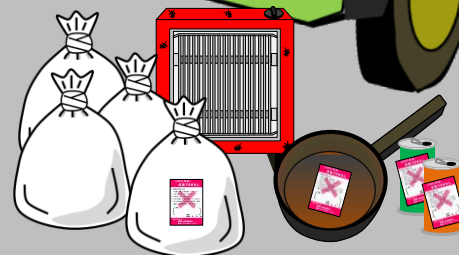
もし それでも まちがえてしまった ときのために・・・



「これは つんでも だいじょうぶだぞ！」

“ちょっくん”も ごみをつままえに しっかりと みています。

これで もう “ちょっくん”は やけどを しなくて すみそうです☆



~Fin~



# あ と が き



**「まずは分別に興味をもってもらわなければ！」**

**そう思ったことが始まりでした。**

この絵本は、皆さんにごみの分別の意味やその大切さを提供するためにはどうすれば良いかを職員が考えた結果、「読み聞かせを通したコミュニケーションツールを活用しよう」というコンセプトのもと生まれたものです。

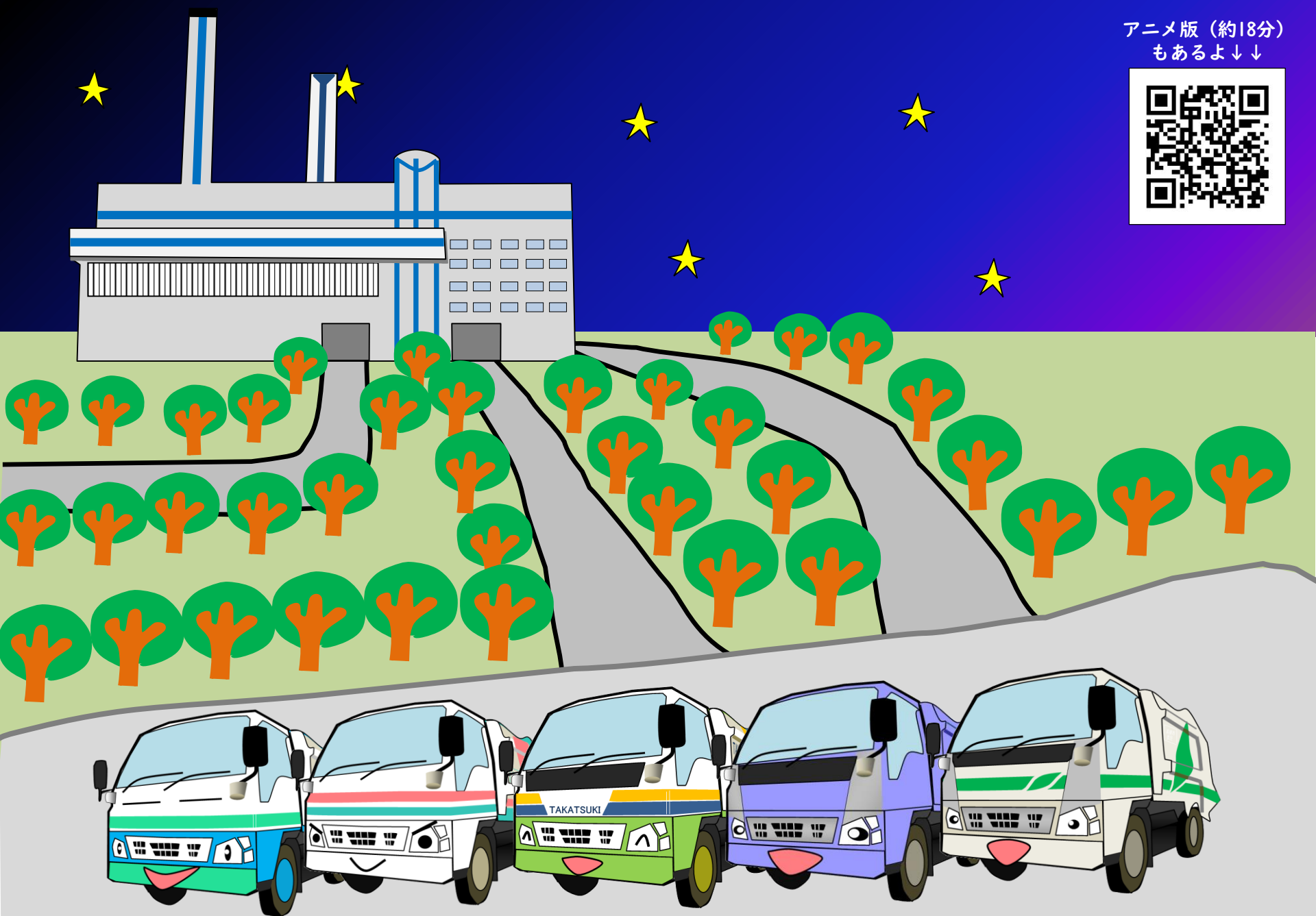
話の内容から絵に至るまで、全て職員が作成したものであるため、お見苦しい点多々あったかと思いますが、この絵本が皆さんのごみ分別に対する意識高揚の一助となれば幸いです。

作中ではスプレー缶やライターなど一部の分別方法しか紹介できませんでしたが、「高槻市ごみアプリ」や「市ホームページ」にて様々なごみの分別方法を簡単に検索できるようにしておりますので、ぜひご活用ください。（清掃業務課にもお気軽にお問い合わせください）

これからも、高槻市は皆さんの正しい分別のもと、日々の安全・安心なごみ収集の継続に努めてまいりますので、今後ともご協力いただきますようお願いいたします。

高槻市清掃業務課

アニメ版 (約18分)  
もあるよ↓↓



はっこうもと しゅうしゅうしゃ たかつきし せいそうぎょうお か  
発行元：収集社 (高槻市清掃業務課)

作成：令和5年